



間近で奏でられる音色に聴き入る児童たち

えさし 本物のクラシックに感激
東北電力「スクールコンサート」

岩谷堂小学校で8月25日、東北電力スクールコンサートが行われました。このコンサートは、東北電力水沢営業所（鈴木良憲所長）が次世代支援プロジェクト「放課後ひろば」の一環として開催。仙台フィルハーモニー管弦楽団による管弦楽九重奏が披露されました。幸運にもパーカッションで演奏に参加した6年生の菊池愛葵君（11）は「普段やっている吹奏楽とは違った演奏が聴けて、一緒に演奏することもできてとても良かった」と喜びを語っていました。

みざさ 記念舞台に地元神楽が集結
第40回胆江神楽大会

胆江神楽大会（胆江地方神楽振興協議会主催）が8月22日、日高神社神楽殿で開催されました。ことしは40回目の記念大会として、同協議会の加盟10団体が総出演。8時間にわたり15演目が披露され、昼と夜とで違った表情を見せる幻想的な神楽の魅力に、観客からは大きな拍手が送られていました。

同協議会の及川章会長は「集まってくれた皆さんから元気を貰いながら、また来年、再来年と頑張っていきたい」と感謝と意気込みを語りました。



吊るしの仕掛けで大蛇を動かした大森神楽保存会の「八岐大蛇」



枝太郎さんの軽快なしゃべりで、序盤から会場は大盛り上がり

こもか 話芸に魅了されるひととき
衣川ふるさと寄席

国民宿舎サンホテル衣川荘で8月9日、衣川ふるさと寄席（同荘・桂枝太郎後援会主催）が開催されました。この寄席は、落語家で奥州大使の桂枝太郎さん（衣川区出身）の地元の本場の落語を届けたいという思いから始まったもので、今年が3回目となります。

この日は、三笑亭可龍さんの落語「つる」、お笑いコンビ「U字工事」の漫才、瀧川鯉昇さんの落語「佃祭」のほか枝太郎さんが新作落語などを披露し、会場は詰め掛けた観客の笑いでいっぱいになりました。

いさ わたしも土器を見つけたよ
遺跡発掘体験

胆沢区南都田地内の石行遺跡で8月8日、遺跡発掘体験（市埋蔵文化財調査センター主催）が開催されました。石行遺跡は、今から1,100～1,200年ほど前の平安時代の遺跡で、現在、発掘調査が進められています。

この日は小学生を中心に20人ほどが参加し、係員の指導の下、住居跡の発掘を行いました。妹と一緒に参加した常盤小学校4年の及川ひなたさん（10）は「初めてで足が痛いけど、楽しいです」と掘り出した土器を手にし、満足した表情を見せてくれました。



土の色が違うところを掘ったら、こんなに土器が出てきたよ

えさし 泥のピッチで奥州っ子輝く
第2回奥州江刺サッカーフェスティバル



この日はばかりは、どれだけ汚れてもお構いなし。写真右上はゲストの中田さん

奥州江刺サッカーフェスティバル（同実行委員会主催）が8月15日、江刺カルチャパークを主会場に開催されました。

子どもたちの心の成長や地域社会への貢献、沿岸の子どもたちとのサッカー交流を目的に、2回目の開催となった今回のフェスティバル。岩谷堂高校サッカー部と同部OBチームの対戦のほか、なでしこオールスターに出場した元なでしこリーガー中田麻衣子さんをゲストに迎えたサッカー教室や「田んぼでどろんこサッカー」が行われ、地域と世代を越えた交流が深まりました。

どろんこサッカーでは、子どもも大人も泥まみれ。真っ黒な顔にあふれる笑顔が降り注ぐ日差しと重なって、特設ピッチを輝かせました。

みざさ 過ぎ行く夏と先祖を見送る
第2回奥州乙女川燈籠流し

第2回奥州乙女川燈籠流しが8月20日、水沢区の市街地を流れる乙女川で行われました。

この催しは、一度途絶えた乙女川の燈籠流しを、榊まちづくり奥州や厄年連などで組織する奥州乙女川燈籠流しの会（板谷吉治代表）が昨年復活させたものです。

午後6時からの御詠歌奉納と法要の後、読経が響く中で約250個の燈籠が流されると、乙女川公園の特設会場を訪れた多くの方は、故人をしのびながら流れゆくともしびに手を合わせていました。



大切な人を思いながら燈籠を水面に



真剣な表情で後藤新平物語に読み入る児童たち

みざさ 郷土の先人を知り考える夏
第8回後藤新平顕彰塾寺子屋

第8回後藤新平顕彰塾寺子屋が8月5日から7日まで、水沢区の武家住宅資料館で開催されました。主催した後藤新平顕彰会の梅森健司会長が「未来を見通した政治家・後藤新平」をテーマに授業を実施。水沢小学校6年生の児童21人が新平の半生を追いながら、先見性に富んだ思想やその功績などを学びました。

齊藤光星君（11）は「授業で習った以外にも知らないことがたくさんあった。色んなことをされていてすごい人だと思った」と偉大な先人の功績に感動していました。